

・質問事項

Q1 他大学から受験します。博士前期課程の出願で併願は可能ですか。

A 他大学の入学希望者には一般選抜での受験をお願いしております。

特別推薦は留学生が対象、推薦は学内選抜のみです。従いまして、他大学との併願は差し支えありません。

Q2 名市大薬学部にて在学し、他大学の大学院を第一志望としている場合、名市大の薬学研究科も受験したければ、推薦入試ではなく、外部の学生同様に一般入試（学力試験など）を受験することになるという認識でよいか。

A ご認識の通りです。他大学を第一志望とされる場合は、一般選抜での受験をお願いします。

Q3 創薬生命科学専攻と共同ナノメディシン科学専攻を同時に志願することは可能ですか。

A 出願の際はいずれかの専攻で受験していただく必要があり、併願はできません。

また、共同ナノメディシン科学専攻へ志願し合格した方が、今年度12月頃に募集する「リンナイ奨学金」に申請すると、優先的に採用することになっておりますので、ご検討ください。

Q4 博士後期課程まで進学することを考えています。それまでに意識しなければならないこと（進学する上でシステム上しなければならないこと、もしくはしておいた方がいいこと）はありますか。

A. 博士後期課程・博士課程の入試内容を確認し、それに向けた準備を行って下さい。博士前期課程のうちに十分な研究成果をあげることで、奨学金申請の準備をするなど。志望する研究室の指導教員と面談する際に博士後期課程まで進学することを考えていることを伝えて、アドバイスを受けて下さい。

Q5 他大学から進学するにあたって何か学習すべきことはありますか。

A. 研究内容によって準備する学習内容は異なりますので、志望分野の教員とよく相談をして、アドバイスを受けて下さい。

Q6 過去問の複写が博士課程前期のみとなっていたが、4年制博士課程の出題範囲等の公表はないのか。

A. 博士課程の専門試験は分野毎の専門性により試験内容が異なりますので公表しておりません。

Q7 現在6年制薬学部にて在籍しているのですが、創薬生命科学専攻の場合、博士後期課程から進学することは可能でしょうか。

A 6年制の薬学部を卒業された方が進学する博士課程は4年制の医療機能薬学専攻で

す。博士後期課程創薬生命科学専攻への入学には修士課程を修了していることが原則求められます。

Q8 TOEIC の点数(原本)は願書提出時に一緒に提出すると思うのですが、願書提出後に受けた TOEIC の点数(原本)を入試当日に提出すれば点数の差し替えは可能なのでしょうか。

A スコアの提出は出願時に限ります。出願後の差替えは受けません。

Q9 令和6年度以降のフェローシップの募集についてはいつ頃学生に周知されるのか。

A 本学が採択されて現在行っている科学技術振興機構(JST)の事業である「医療創薬デザイン人材養成フェローシップ」と「グローバル未来都市共創に資する次世代研究者エンパワメントプログラム」は、令和5年度採択生を最後に中止され、令和6年度に、両者を一本化した事業としてあらためてJSTによって公募されます。

本学もこれに申請しますので、本学のプログラムが採択されれば、新しい事業としてこれまでと同様の支援をする予定ですので、本学のウェブサイト等で確認してください。現行の事業の公募と同じであれば、募集は令和6年1～2月頃になります。

Q10 日本学生支援機構の奨学金とフェローシップの併給は可能か。

A 現行の科学技術振興機構(JST)の「医療創薬デザイン人材養成フェローシップ」あるいは「グローバル未来都市共創に資する次世代研究者エンパワメントプログラム」と日本学生支援機構の奨学金の併給は可能ですが、令和5年度よりこれらに採択された場合、返還免除審査の対象外となる制限が設けられることになりました。